

学校配置の適正化について

- ・長年の少子化傾向により、大阪市では、小学校の児童数が昭和 57 年度と比べ半減しているが、小学校数は微減にとどまっていることにより、学年によって 1 学年 1 学級（単学級）の状態が生じている。

	(昭和 57 年度)		(平成 27 年度)
児童数	約 22 万 5 千人	⇒	約 11 万 3 千人
学校数	300 校	⇒	292 校

- ・**適正配置の対象校は 11 学級以下の小学校※**（「大阪市立小学校学校配置の適正化の推進のための指針」、平成 26 年 3 月、大阪市教育局）

※上記指針によれば、11 学級以下の小学校では、「学年によっては 6 年間クラス替えができないことから人間関係が固定化する傾向にある」などの課題を抱えており、それらの課題の解消を図るため学校の適正配置が必要。適正配置の方法は基本的に統合によるものとし、場合によって校区変更も検討することとしています。

港区の小学校の現状

(平成 27 年 5 月 1 日現在)

小学校名	児童数	学級数	現時点での推計
市岡小学校	540 人	17 (3)	
磯路小学校	243 人	9 (2)	平成 33 年度は 8 学級
三先小学校	408 人	13 (3)	
田中小学校	344 人	12 (2)	
八幡屋小学校	212 人	8 (2)	平成 28 年度から全学年単学級
波除小学校	586 人	18 (6)	
築港小学校	200 人	7 (2)	平成 31 年度から全学年単学級
南市岡小学校	159 人	7 (2)	南市岡 3 丁目の校区変更により単学級が解消されていく見込み
港晴小学校	200 人	8 (1)	平成 28 年度は全学年単学級、29・30 年度は一旦 7 学級になり、31 年度に再び全学年単学級
弁天小学校	514 人	17 (4)	
池島小学校	226 人	6 (4)	現在、全学年単学級 平成 28～30 年度は一旦 7 学級になるが、31 年度に再び全学年単学級

※児童数は特別支援学級在籍児童を含む。学級数の（ ）は特別支援学級で外数。

※太字は 11 学級以下の小学校。